

# 高病原性鳥インフルエンザ等Q&A

平成23年2月現在

香川県西讃保健福祉事務所

## 1 《鳥インフルエンザについて》 編

- Q1 「鳥インフルエンザ」とは？
- Q2 高病原性鳥インフルエンザとは？
- Q3 高病原性鳥インフルエンザウイルスが海外から日本に侵入するルートはどのようなものがありますか？
- Q4 香川県の鳥インフルエンザの防疫対策は？
- Q5 発生が疑われた養鶏農場は、どのような防疫措置がとられますか？
- Q6 鳥インフルエンザと通常のインフルエンザ、風邪の違いを教えてください。

## 2 《食品関係》 編

- Q1 発生農場からの食品として流通した鶏肉や鶏卵は回収する必要があるのではないですか？
- Q2 鶏肉や鶏卵を食べて、鳥インフルエンザにかかることがありますか？  
卵は加熱だけで大丈夫ですか？

## 3 《人への感染の可能性》 編

- Q1 これまで鳥インフルエンザウイルスがヒトに対して感染した例は？
- Q2 どのような場合は、ヒトに感染するのですか（感染経路）？
- Q3 ヒトに感染したら、どのような症状が出るのですか？
- Q4 診断方法と治療法について教えてください。
- Q5 感染した時は、隔離されたり自宅を消毒したりしますか？
- Q6 ヒトではどのような予防方法がありますか？
- Q7 ヒトのインフルエンザワクチンは、鳥インフルエンザに効きますか？
- Q8 抗インフルエンザウイルス薬はどのようなものがありますか？

## 4 《発生地域の旅行》 編

- Q1 鳥インフルエンザが発生している国への旅行、あるいは日本国内で発生した地域への旅行は大丈夫ですか？また旅行時の注意点は？
- Q2 鳥インフルエンザの旅行地域から帰国後に発熱したがどうすればよいですか？

## 5 《ペット関係》 編

- Q1 鳥が高病原性鳥インフルエンザにかかるとどのような症状が出ますか？
- Q2 鳥が感染しているかどうか検査できますか？
- Q3 鳥用のワクチンはありますか？
- Q4 自宅や、学校で鶏やインコ、小鳥を飼っていますが大丈夫ですか？
- Q5 鳥を飼う場合、注意することは？
- Q6 鳥小屋の消毒方法は？
- Q7 飼っている鳥が死んだ場合どうしたらいいですか？
- Q8 飼っている鳥を処分したいのですがどうしたらいいですか？

## 6 《野鳥》 編

- Q1 庭に野鳥やハトがよく来るのですが、大丈夫ですか？
- Q2 野鳥が死んでいるのを見つけたらどうしたらいいですか？

## 7 《鳥インフルエンザ関連情報》 編

## 1 《鳥インフルエンザについて》編

### Q1 「鳥インフルエンザ」とは？

A1 鳥インフルエンザとは、A型インフルエンザが引き起こす鳥の病気です。  
鳥に感染するA型インフルエンザをまとめて鳥インフルエンザといいます。

\*感染して発病する鳥類は、鶏や七面鳥などの家さんが主で、通常、野鳥は殆ど発病しません。

### Q2 高病原性鳥インフルエンザとは？

A2 通常の鳥インフルエンザウイルスは鶏などが感染しても卵の生みが悪くなる程度の影響しかでない「弱毒型」です。しかし鳥インフルエンザウイルスの中には鶏などを死亡させる強毒なH5あるいはH7亜型があり、その感染による病気を高病原性鳥インフルエンザといいます。

強毒型の鳥インフルエンザに感染した鶏は、全身で感染をおこし、1～2日でほぼ100%死に至ります。

### Q3 高病原性鳥インフルエンザウイルスが海外から日本に侵入するルートはどのようなものがありますか？

A3 日本への侵入ルートとしては、

- 1) 輸入された鳥類が感染して侵入する場合
- 2) 渡り鳥や野鳥が感染して侵入する場合
- 3) 発生国から輸入肉・卵などから侵入する場合
- 4) 発生国から人が持ち込んで侵入する場合

が考えられます。

鶏を含む全ての鳥類や肉・卵は、輸入検疫で監視され、輸出国政府機関発行の検査証明書（高病原性鳥インフルエンザに係る無病証明等）の添付が義務づけられています。さらに、高病原性鳥インフルエンザ発生国からの輸入は禁止されています。渡り鳥のルートは、鳥やそれらの糞との接触をさけることが重要で、人の履物や衣服にウイルスをつけて持ち込まないように、発生地の農場などへの訪問をしないことも肝要です。

### Q4 香川県の鳥インフルエンザの防疫対策は？

A4 平成21年2月に高病原性鳥インフルエンザ対策マニュアルを策定し、それに基づいて防疫対策を行います。詳しい事は家畜保健衛生所（電話：0877-62-0020、西讃支所 電話：0875-62-6109）、香川県畜産課（電話：087-832-3428）にお問合せください。

### Q5 発生が疑われた養鶏農場は、どのような防疫措置がとられますか？

A5 「高病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に沿って措置がとられます。

- ①本病であると確認されると、農場全体が、閉鎖、消毒され、人の出入りが禁止されます。
- ②発生農場及び同一飼養者が管理している農場の家さんはすべて殺処分され焼却・埋葬・消毒されます。

- ③発生農場を中心とした半径5～最大 30Kmの区域では指定期間、生きた家きん、死体、卵、排泄物などの移動が原則禁止されます。
- ④最終発生の防疫措置が終了して約3週間に続発がなければ、基本的には移動制限が解除されます。

## Q6 鳥インフルエンザと通常のインフルエンザ、風邪の違いを教えてください。

- A6 ①**普通の風邪**：のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などが中心で、全身症状はあまりみられず、発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化も稀です。  
風邪とインフルエンザは原因となるウイルスが異なる別の病気です。かぜのひどくなったものがインフルエンザではありません。
- ②**通常のインフルエンザ**：冬季に流行する季節性のインフルエンザを指します。  
38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身症状が強く、あわせて、のどの痛み、鼻汁、さらに、気管支炎、肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんなどを併発し重症化することもあります。
- ③**鳥インフルエンザ**：1Q1・3Q3 参照  
鳥インフルエンザは、本来は鳥類で流行するインフルエンザです。2003 年以来、毒性が非常に強いH5N1型の感染が世界中の鳥類に拡大しており、外国の一部地域において人への感染も増えています。

## 2 《食品関係》編

### Q1 発生農場からの食品として流通した鶏肉や鶏卵は回収する必要があるのではないですか？

- A1 一般に食鳥処理場や卵選別包装施設などで食用に処理された鶏肉や鶏卵は、ウイルスに汚染されている可能性や、これらを通じて他の鶏に感染する可能性は低いことから、家畜衛生の観点から回収する必要はないとされています。  
さらに、食品として鶏肉や鶏卵を食べたことで、人が鳥インフルエンザに感染したという報告はないことから、食品衛生の観点からも回収する必要はありません。

### Q2 鶏肉や鶏卵を食べて、鳥インフルエンザにかかることがありますか？ 卵は加熱だけで大丈夫ですか？

- A2 食品として鶏肉や鶏卵を食べて感染した症例はありません。また、発生した場合は発生農場周囲の農場で生産される鶏肉、鶏卵はウイルス検査が陰性でないとは出荷できなくなりますから、ウイルス汚染鶏卵や鶏肉が市場にでまわることはありませんので安心してください。  
なお、WHO によるとウイルスは適切な加熱により完全に死滅するとされており、不安な方は卵の中心部が70℃に達するまで加熱することをおすすめします。鶏肉は、食中毒予防の観点からも十分加熱して食べてください。

### 3 《人への感染の可能性》編

#### Q1 これまで鳥インフルエンザウイルスがヒトに対して感染した例は？

A1 これまで、鳥インフルエンザウイルスは種の壁があるため、人への感染はないと考えられていましたが、世界的に見るとアジアを中心に広がっており、平成 22 年末までに 516 人が発病し、約 6 割の 306 人が死亡しています。

濃厚にある程度の期間持続して接触すれば感染する可能性があります。

#### Q2 どのような場合は、ヒトに感染するのですか（感染経路）？

A2 感染源は、H5N1 に感染した、病鳥や死鳥の排泄物や体液です。

鳥インフルエンザにかかった鳥の羽や粉末状になったフンを吸い込んだり、その鳥のフンや内臓に触れてウイルスに汚染された手から鼻にウイルスが入るなど、人の体内に大量のウイルスが入ってしまった場合に、ごくまれに感染することが報告されています。

- ・病鳥の羽をむしったり解体する
- ・感染した闘鶏を世話する
- ・病鳥や症状を示さないアヒルと遊ぶ
- ・アヒルの生の血液、あるいは加熱処理不十分と思われる家きんの摂食などを原因とする報告例があります。

しかし、上記のようなケースでの感染例は少数であり、少なくとも人から人への感染効率は低いと考えられています。

#### Q3 ヒトに感染したら、どのような症状が出るのですか？

A3 原因となったウイルス株によって違いが見られます。

潜伏期は概ね 2～8 日。初発症状は、発熱、咳嗽、呼吸困難、喀痰、下痢、咽頭痛、鼻汁、筋肉痛、嘔吐、頭痛などがみられ、予後は、ほとんど疾患名をつけられないほどの軽症例から通常のインフルエンザ様症状、重篤な肺炎、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）、多臓器不全などにより、急激に悪化して死に至るものまで様々です。

#### Q4 診断方法と治療法について教えてください。

A4 発熱や咳などの症状と、発病 10 日前までに H5N1 亜型の鳥インフルエンザが流行している地域へ旅行したかどうかの渡航歴や、そのような家きんと濃厚接触歴あるいは肺炎患者を看病したり、1～2メートル以内で対面接触があったかどうかを調べます。

そして、血液検査や胸部レントゲン撮影とともに、咽頭・鼻咽頭拭い液などを迅速診断キットでインフルエンザに感染しているのかどうかを調べ、さらに詳細な PCR 法（ポリメラーゼ連鎖反応）での検査を行い診断します。

A 型及び B 型インフルエンザの治療に用いられる抗インフルエンザウイルス薬（3A8 参照）が有効と考えられています。

#### Q5 感染した時は、隔離されたり自宅を消毒したりしますか？

A5 H5亜型の高病原性鳥インフルエンザと診断されれば、感染症法の「二類感染症」に指定されているため、原則として入院勧告（隔離）となります。H5亜型以外の鳥インフルエンザは「四類感染症」のため、入院勧告の必要はありませんが、症状により入院となります。

また、インフルエンザは飛沫感染が主体ですが、手指を介した接触感染もあることから患者が直接接触した部分（ドアノブ、椅子、机など）は、消毒用エタノールや次亜塩素酸などを使用し、これらの消毒液をしみ込ませたガーゼで拭いてください。

#### Q6 ヒトではどのような予防方法がありますか？

A6 今のところ、鳥インフルエンザに対する有効な予防ワクチンはありません。

ヒトへの感染を避けるため、付着したウイルスを他の地域の鶏にひろげないために、鳥インフルエンザが発生している流行地への渡航を避けてください。

もし、行かなければならないような場合は、養鶏場への出入りや生きている鳥を扱っている市場へは絶対行かないようにしてください。

また、死んだ野鳥や鳥の排泄物にも直接触れないようにしてください。もしも触れた場合は、速やかに手洗いやうがいをしてください。特に子どもは興味から野鳥に近づくことがありますので注意しましょう。

#### Q7 ヒトのインフルエンザワクチンは、鳥インフルエンザに効きますか？

A7 現在使用されているヒトのインフルエンザワクチンは、新型（A/H1N1）と季節性（A/H3N2とB型）に対して効果のあるものであり、H5型やH7型などの鳥インフルエンザに対しての効果は期待できません。

#### Q8 抗インフルエンザウイルス薬はどのようなものがありますか？

A8 インフルエンザの治療には、ザナミビル（商品名：リレンザ）、リン酸オセルタミビル（商品名：タミフル）が、主に使用されています。

リレンザとタミフルは、A、B型のインフルエンザウイルスに有効です。

リレンザは吸入で、タミフルは内服で使用します。

これらの抗インフルエンザウイルス薬は、発症後48時間以内に服用することにより、合併症のないインフルエンザでの罹病期間を短縮することが確認されています。

### 4 《発生地域の旅行》編

#### Q1 鳥インフルエンザが発生している国への旅行、あるいは日本国内で発生した地域への旅行は大丈夫ですか？また旅行時の注意点は？

A1 WHO から鳥インフルエンザが発生している流行地へ渡航制限はでていませんが、流行地では生きた家畜を売る市場、家きん飼育上などの家きんと接触を避けるよう勧告がでています。

#### Q2 鳥インフルエンザの旅行地域から帰国後に発熱したがどうすればよいですか？

A2 帰国後、潜伏期間中（2日～8日[最大17日]）に急な発熱（38℃以上）などのインフル

エンザ様症状が出た場合は、速やかに最寄の保健所に相談してください。医療機関への受診を指示された場合は、事前に医療機関に渡航先、渡航期間を伝え、マスクを着用のうえ受診してください。

## 5 《ペット》編

### Q1 鳥が高病原性鳥インフルエンザにかかるとどのような症状が出ますか？

A1 症状は、ウイルスの病原性の強さ、他の病原体との混合感染、環境要因などによって、元気消失、食欲・飲水欲の減退、産卵率の低下、呼吸器症状、下痢、肉冠・肉垂・顔面の腫れやチアノーゼ、脚の浮腫や皮下出血、神経症状など多様な症状がみられます。

病原性が強い場合は、鶏は短期間に高率に死亡します。

病原性が弱い場合は、感染しても症状が出ない場合や軽い元気消失を認めます。

### Q2 鳥が感染しているかどうか検査できますか？

A2 鶏が急死したり、異常な症状が見られた場合は、まず動物病院で受診してください。検査の依頼については家畜保健衛生所に連絡してください。

連絡先：家畜保健衛生所（電話：0877(62)0020）

西讃支所（電話：0875(62)6109）

### Q3 鳥用のワクチンがありますか？

A3 海外に鳥用のワクチンがありますが、日本を含め世界のほとんどの国では、ワクチンに頼らない殺処分による防疫措置が採られます。それは、ワクチンは発病を防ぐことはできるけれども、ウイルス感染を防ぎきれないために、農場の清浄化を完全に達成できないからです。

### Q4 自宅や、学校で鶏やインコ、小鳥を飼っていますが大丈夫ですか？

A4 国内で鳥インフルエンザが発生しても、これまでペットとして家庭などで飼育していた鳥が直ちに危険になることはありません。

鳥に触ったあとは手洗いを十分行い、糞尿は速やかに処理して鳥の周囲を清潔にすることが重要です。

### Q5 鳥を飼う場合、注意することは？

A5 国内で鳥インフルエンザが発生しても、これまでペットとして家庭などで飼育していた鳥が直ちに危険になることはありませんので、今まで飼っていた鳥を野山に放したり、処分をするようなことはしないでください。

- 1) 野鳥等が鳥小屋に入らないようにする。
- 2) 鳥を飼っている場所は、こまめに掃除し、糞はすぐに片付ける。
- 3) エサや水は頻回に取り替える。
- 4) 給水源に野鳥を近づけないようにする。
- 5) 鳥の体や糞に触れた後は、手洗いとうがいをする。
- 6) 口移しでエサをあげたりするのはやめましょう。
- 7) 飼育者は野鳥等との接触を極力避けるようにする。

もし、鳥の健康状態で心配な点がありましたら、獣医師にご相談ください。

## Q6 鳥小屋の消毒方法は？

A6 インフルエンザウイルスは、表面がエンベロープと呼ばれる壊れやすい膜で覆われているので、市販の消毒薬で容易に死滅します。

一般の薬局で販売されている「逆性石鹼（10%塩化ベンザルコニウム溶液）」などを200～500倍に薄めて、（200倍ならば、水20リットルに逆性石鹼100cc）噴霧器などで鳥小屋全体にかけます。鳥小屋の床が土面であれば、消石灰を薄く散布します。

特に、鳥小屋の入り口を念入りに行うと有効です。消毒は、天気の良い日に行ないましょう。また、消毒前には清掃し、ごみ、ほこり等を除去後、鳥小屋全体を消毒してください。

少なくとも1週間に1回は消毒を実施するよう心がけましょう。

## Q7 飼っている鳥が死んだ場合どうしたらいいですか？

A7 ペットの鳥が死んだ場合、直ちに鳥インフルエンザを疑うことはありません。

原因がわからないまま次々鳥が連続して死んだ場合は、死んだ鳥を素手で触ったり、土に埋めたりせずに、なるべく早く獣医師や西部家畜保健衛生所（電話：0877-62-0020）、西讃支所（電話：0875-62-6109）にご相談ください。

## Q8 飼っている鳥を処分したいのですがどうしたらいいですか？

A8 県では鶏をはじめ愛玩鳥を取引取ったり、処分したりはしません。

家庭などで隔離して飼われている鶏は、むしろ感染の危険性は少ないです。安易に公園や河川に捨てることは、逆に野鳥や水鳥などとの接触の機会を増やし、鳥インフルエンザを発生、蔓延させることになるので厳に慎んでください。また、飼っている動物を捨てることは、「動物の愛護及び管理に関する法律」で罰せられます。安易に手放さず、飼主としての責任をもって冷静な対処をお願いします。

## 6 《野鳥》編

### Q1 庭に野鳥やハトがよく来るのですが、大丈夫ですか？

A1 鳥インフルエンザウイルスは多種の鳥に感染すると言われていますが、これまで野鳥から人に感染した例はありません。

人への感染事例は、病気の鶏と近距離で濃密に接触した場合に限られます。

野鳥への過度な接触・給餌等は控え、糞尿には直接触れないようにすることが大切です。

### Q2 野鳥が死んでいるのを見つけたらどうしたらいいですか？

A2 野鳥が死んだ場合、直ちに鳥インフルエンザを疑うことはありません。

鳥インフルエンザでなくても、様々な細菌や寄生虫を持っていますので、素手で触らず、ビニール袋に入れきちんと封をして廃棄物として処理します。

しかし、通常野鳥の死体が見られないような場所で見つかったり、複数の鳥が死んでいるなど、周辺の状況から異常と考えられる場合には、素手で触ったり、そのまま土に埋めたりせずに、県のみどり保全課（電話087(832)3462、087(832)3212）にご連絡ください。

## 7 《鳥インフルエンザ関連情報》編

### 1 香川県

- 1) 薬務感染症対策課（高病原性鳥インフルエンザに関する電話相談窓口について）  
<http://www.pref.kagawa.jp/yakumukansen/toriflu-s.html>
- 2) 薬務感染症対策課（香川県感染症情報）  
<http://www.pref.kagawa.jp/chikusan/flu/>
- 3) 畜産課（高病原性鳥インフルエンザ関連情報）  
<http://www.pref.kagawa.jp/chikusan/flu/>

### 2 厚生労働省

- 1) 鳥インフルエンザに関する情報（関連情報）  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou02/index.html>
- 2) 新型インフルエンザ対策関連情報  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

### 3 国立感染症研究所 感染症情報センター

- 1) 高病原性鳥インフルエンザ  
[http://idsc.nih.go.jp/disease/avian\\_influenza/index.html](http://idsc.nih.go.jp/disease/avian_influenza/index.html)
- 2) 鳥インフルエンザに関する Q&A  
[http://idsc.nih.go.jp/disease/avian\\_influenza/QA0612.html](http://idsc.nih.go.jp/disease/avian_influenza/QA0612.html)
- 3) 鳥インフルエンザ感染が疑われる患者に対する医療機関での対応  
[http://idsc.nih.go.jp/disease/avian\\_influenza/56idsc-hosp.html](http://idsc.nih.go.jp/disease/avian_influenza/56idsc-hosp.html)

### 4 動物衛生研究所

- 1) 高病原性鳥インフルエンザ関連情報  
[http://www.niah.affrc.go.jp/disease/poultry/tori\\_influenza.html](http://www.niah.affrc.go.jp/disease/poultry/tori_influenza.html)
- 2) 高病原性鳥インフルエンザの Q&A  
<http://www.niah.affrc.go.jp/disease/poultry/toriinfluqa.html>

### 5 農林水産省

- 1) 鳥インフルエンザに関する情報  
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>
- 2) 鳥インフルエンザについて知りたい方へ  
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/know.html>

### 6 環境省

- 1) 高病原性鳥インフルエンザに関する情報  
[http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/index.html](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html)

### 7 食品安全委員会

- 1) 鳥インフルエンザについて  
<http://www.fsc.go.jp/sonota/tori1603.html>

### 8 日本小動物獣医師会

- 1) 学校飼育動物 鳥インフルエンザ対策  
<http://www.jsava.org/schoolanimals/>